

《担当者名》近藤里美 skondo@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

本講義では、音楽療法に関する基礎的知識と研究を学び、リハビリテーションへ応用するための方法論を理解する。

【学修目標】

一般目標：リハビリテーションに活用する音楽療法の知識を習得する。

行動目標：

1. 音楽療法の理論とその背景にある考えを説明できる。
2. 音楽療法の基礎的知識を習得し、リハビリテーションに活用する音楽療法研究について説明・評価できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1～7	音楽療法の理解	音楽療法の歴史や音楽療法の背景となる様々な考えを理解する。	近藤里美
8～15	音楽療法の研究	様々なリハビリテーション領域での音楽療法研究について理解し、評価する。	近藤里美

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション50%、討議への取り組み50%

【教科書】

特に指定しない（適宜配布資料を配布）。

【参考書】

Malloch, S. (2010). Communicative Musicality: Exploring the Basis of Human Companionship. Oxford University Press.

Wheeler, B. (2016). Music Therapy Research. Barcelona Publishers.

【学修の準備】

関連の文献等を検索・読解して、理解が深められるように整理・統合すること（事前・事後学習各80分）

【実務経験】

近藤里美（音楽療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関や介護福祉施設などでの実務経験を活かし、担当の講義を行う。